

保護者通信 新年号（第11回）

2022年1月吉日

桜丘国際日本語学校事務局

「明けまして、おめでとうございます。昨年はお世話になりました。今年もよろしく申し上げます。」

2022年の新年が過ぎました。新年の際、日本人はよくこのような決まり文句を言うのを、皆さんは聞いたことがあるかもしれません。去る年にきれいに句点を打ち、そして来る新しい年への期待を含めている素晴らしい言葉ですね。今年はコロナ終焉で、人々が自由に行動できる一年になりますように、皆さんも私とともに願っているのではないのでしょうか。

ちなみに、昨年の日本が、どのような一年なのかを、一番簡潔にまとめられ、表現されたのは、漢字一文字の「今年の漢字」でした。2021年の「今年の漢字」として選ばれたのは、「金」という字でした。

「金」が「今年の漢字」として選ばれた理由は、東京オリンピック・パラリンピックにおける日本人選手の金メダルラッシュや、新型コロナウイルス感染症の流行に伴う支援金の支給、等々。この

「金」の字を見れば、2021年には東京でオリンピック大会が行われたことや、日本政府がコロナ禍で苦しんでいる国民にお金を配ったことなど、2021年に起こった様々なことを思い出しますね。漢字の幅広さと奥深さに感服します。そのため私は常に、漢字を作り出した古代中国、およびこの知恵溢れた表記記号を日本語に取り入れてくれた日本人の先祖に感謝の念を思っています。



京都の清水寺で「今年の漢字」を揮毫している森清範貫主。

(引用：<https://new.qq.com/omn/20211214/20211214A08BD400.html>)

古代中国から漢字が伝来してきた千年後の今、漢字はすでに日本語の中に欠かせない、現代の日本語表記体系の中の重要なひとつとなっています。漢字がわからないと、日本語が永遠に上達しないと書いても過言ではありません。

では、この大切な漢字は桜丘国際日本語学校では確実に覚えられ、そして使えるようになるまで勉強できますか?---それはもちろん！すでに学校に通っている皆さんはわかっていると思いますが、桜丘国際日本語学校の先生方はまじめに漢字の知識を教えていますね。そして、まだ来日できない皆さんや非漢字圏から来る皆さんも、桜丘国際日本語学校へ来たら、筆順から読み方、そして使い方までしっかりと漢字の勉強ができますので、安心してください。

それでは、今回の保護者通信はここまでにしたいと思います。皆さんにとって、過ぎたばかり2021年はどんな漢字で表したいですか。さらに、2022年の希望を漢字ひとつで表すのであれば、どんな字を選ぶかを考えておくのも面白そうですね。今年も桜丘国際日本語学校をよろしく願います。

以上